

挑戦・努力

(前略) 今までは、挑戦される身だったかもしれないけど、これからは挑戦し続けて必ず勝ちます。挑戦する心。これが今回の負けで得た一番大切なものだと思っています。(中略)

人間が一番大切なことは、努力すること、挑戦することのどちらかだと思います。努力しなくなったら、人間の中身の成長がそこで止まってしまいますし、挑戦しなくなったら人間はそこで終わりだと思います。僕はこれからの将来に向けて、運動、勉強のどちらも挑戦し続け、努力し続けます。
「平成20年度作新学院中等部立志文集」より

上記の作文は、昨年度のリオディジャネイロオリンピック、水泳男子400メートル個人メドレーで金メダルを獲得した萩野公介選手が、「挑戦・努力」というタイトルで中学生の時に書いたものです。

この作文を書いた年、萩野選手はジュニアオリンピックという大会で、後にライバルとなる瀬戸大也選手に予期せず敗れてしまいます。その悔しい気持ちを作文から読み取ることができます。

これ以降、萩野選手と瀬戸選手はお互い切磋琢磨し合います。そして、オリンピックの同種目では、萩野選手が金メダル、瀬戸選手が銅メダルと、競泳種目では60年ぶりのダブル表彰台という快挙を成し遂げます。

小さい頃から天才と言われていた萩野選手。ともすれば慢心することもあったかもしれませんが、瀬戸選手に敗れたことでそれに気付き、上記のような作文で自分を戒め、挑戦、努力し続けたことが、大きな成果になったのだと考えます。

さて、今週から水泳授業がスタートします。

12日(月)には全校朝会でプール開きを行いました。各学年の代表の子どもたちからは、水泳のめあてが力強く発表されました。どの子どもも、「長い距離を泳げるようになりたい」「校内記録会でいい成績を残したい」などの具体的なめあてをもっていて、うれしく思いました。

水泳は、克服型スポーツであると言われていています。運動を楽しむというよりは、自分のめあてをもって、苦しくても努力し、挑戦することに特性があります。



『あわかわ郷育プログラム』では、「あいさつ、がまん、あとしまつ、思いやり」を目標として掲げ、学校でも重点的に取り組んでいるところです。まさに水泳の学習は、この中の「がまん」の心を鍛え、具体的に実践する場でもあると考えます。学校では、安全に十分留意し、「がまん」の心が身に付くよう、子どもたちを指導していきます。

その成果は、7月11日(火)に行われる4年生以上対象の校内水泳記録会で披露します。ぜひ、子どもたちの成果をご覧ください。

【昨年度の校内水泳記録会より】

(文責：校長)

輝く子どもたち

<5月31日~6月2日

佐渡体験学習（6年生）>

6年生が2泊3日の佐渡体験学習に行ってきました。いかなの一夜干し作り、金山やトキの森公園の見学、楽しみにしていたブリカツ丼などの食事など、佐渡ならではの活動がいっぱいの充実した3日間を過ごしました。6年生の感想を紹介します。



6年 小林 さん

ぼくは、佐渡体験学習に行って、思い出が四つできました。一つ目は、佐渡の歴史を学んだり金のことを教えてもらったり、たらい舟、砂金採りなどをしたことです。二つ目は、民宿やホテルで過ごした夜のことです。おいしいご飯を食べて、みんなでねた夜、楽しかったです。三つ目は、佐渡でいろいろな人にお世話になったことです。感謝をして、これからも礼儀を忘れないようにしたいです。四つ目は、協力することです。みんながそれぞれの仕事をがんばったのでとてもいい体験学習になりました。

この佐渡体験学習で、いろいろなことを学び、楽しむことができました。佐渡での思い出はすごく心に残りました。

6年 近藤 さん

私が佐渡体験学習で楽しかったことは五つあります。一つ目は西三川ゴールドパークです。砂と砂金を分けるのがとても難しかったけど、七個とれたのでよかったです。二つ目は長浜荘です。ご飯がとてもごうかでびっくりしました。部屋や食堂から海の景色が見えてとてもきれいでした。三つ目はたらい舟です。船頭さんのまねをしてこいだら、とてもうまくできました。ウミウシやヒトデを生で見られたのでよかったです。四つ目は佐渡金山です。金ののべ棒が思ったより重くてびっくりしました。私は両手が穴に入っただけなのに、手が引っかかって取れませんでした。でも、楽しかったです。五つ目はろくろ体験です。穴を開けるのが難しかったです。職人さんがやっているのを見ていたら、簡単そうに見えたけど、実際は難しかったです。

今度行く5年生にも楽しんでもらいたいです。

6年 渡邊 さん

ぼくは、佐渡に行って楽しかったことが五つあります。一つ目は歴史伝説館です。佐渡の歴史、文化、伝説がよく分かりました。特に日蓮聖人の佐渡法難がおもしろかったです。二つ目は佐渡金山です。坑道がすごくしっかり掘られていたのでびっくりしました。中に入ってみると、どのようにして金山が掘られていたのかが分かりました。掘るとき大変だったんだなあと思いました。三つ目はホテル万長に泊まったことです。部屋でトランプをしたりウノをしたりしました。もう三日くらい泊まりたかったです。四つ目は買い物です。おみやげ計画を見ながら買い物をしました。カステラやストラップ、クッキーなどたくさん買ったのでよかったです。家族に買っていったら喜んでいました。うれしかったです。五つ目はトキの森公園です。なぜトキが減ってしまったかなど、知らなかったことをたくさん知ることができました。日本で最後のトキ、「キン」が36年も生きていたということを知ってびっくりしました。

佐渡にはこんなにも歴史・伝説・文化があることが分かりました。佐渡金山が世界遺産に登録されて欲しいです。

校内いじめ見逃しゼロ 強調月間

6月 5日(月)～
6月23日(金)



みんなで「いじめを見逃さない、いじめを許さない気持ちを持ち、仲良く学校生活を送ることができる」ように次のような取組を行っています。

7日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・Q-Uアンケートを行い、子どもたち一人一人の気持ちやクラスの様子を調べ、指導に活かす ・わんぱくグループで遊ぼう①(昼休み) 	
14日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・わんぱくグループで遊ぼう②(昼休み) 	
15日	木	<ul style="list-style-type: none"> ・全校人権教育、同和教育出前授業(4時間目) 講師：富樫勇巳様【村上市人権擁護委員協議会会長】 	
21日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・わんぱくグループで遊ぼう③(昼休み) 	
23日	金	道徳の日 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ見逃しゼロミニ集会13:30～13:45 ・道徳授業参観(いじめについて考える)13:55～14:40 ・心の懇談会14:50～15:30(保護者と教職員) 	
月間内で行うこと		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにいじめについての意識調査を行う。(月間の前後) ・「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」について考える(道徳や学級活動) ・「いじめを見逃さない」「いじめを許さない」「みんなで仲良く」などを目標にクラスで標語を作る。(5年生は一人一人が標語を考え、「人権標語」に応募する。) 	

ミニ集会から参観できます。たくさんのご来校をお待ちしております!

歯ッピーウィークで歯をHappyに!

6月 8日(木)～
6月22日(木)

子どもたちが虫歯や歯周病について知り、自分の歯を大切にする、そして正しいブラッシングの方法を身に付け、虫歯予防ができるようになることを目的に取り組んでいます。期間中は、歯磨き指導や児童会保健委員会の活動など、さまざまな取組を行います。

8日(木)と9日(金)に村上市の本間歯科衛生士様と保健室の黒澤が歯磨き指導を行いました。

低学年では、普段食べたり飲んだりしている物の中に砂糖がどれだけ入っているかを考えました。想像以上に砂糖がたくさん入っていることに子どもたちはとても驚いていました。

中、高学年では、正しいブラッシングの仕方を身に付けるため、磨き残しが分かるテスターを使用しました。しっかり磨いたつもりでも赤くなっている部分があることが分かり、今まで以上に気を付けて磨くことを意識していました。



中学年の様子

10日(土)から19日(月)の10日間歯磨きカレンダーを子どもたちに配り、1日3回歯磨きができたかをチェックする取組を行います。保護者の皆様からは歯磨きの声かけや歯磨きカレンダーのチェック、そして頑張っていることを大いに褒めてください。ご協力よろしくお願いいたします。